

高等学校 令和8年度（3学年用）教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～7組

教科担当者：

使用教科書：（数研出版 文学国語）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・聞	書	読						
文学の扉 【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考える。 粘り強く『山月記』と『人虎伝』の差異を見極め、学習課題に沿って考察する。	文学の扉 山月記 人虎伝 ・一人1台端末の活用 等		○						10	
定期考査						○	○			1
1 学 期 平成の小説 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って説明できるようにする。	平成の小説 ひよこの眼 ・一人1台端末の活用 等		○						8	
昭和中期の小説 【知識及び技能】 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品に込められた寓意を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうことができるようにする。	昭和中期の小説 赤い繭 ・一人1台端末の活用 等		○	○					7	
定期考査						○	○			1

